

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 4

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		語学指導を行う外国青年招致事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	教育総務係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	横田和幸		氏名	大和良成
事業の概要	児童・生徒の国際理解力の向上並びに英語教育の内容充実に向け、外国語指導助手(ALT)1名を招致している。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 30,200 千円 事業費計 30,200 千円	
実施方法	■ 直営	民間委託		その他 ( )		
第5期総合計画(前期)		■ 登載事業	非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～			
	基本施策	#	学校教育の充実			
	単位施策	1	小中学校の教育内容の充実			
	事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務			
	その他計画・根拠等	語学指導等をおこなう外国青年就業規則				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	24 千円	15 千円	23 千円	24 千円	23 千円
	雄武町負担額(一般財源)	6,147 千円	5,294 千円	5,429 千円	5,557 千円	5,717 千円
	合計	6,171 千円	5,309 千円	5,452 千円	5,581 千円	5,740 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	児童・生徒	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	外国語に触れる機会が少ないため、英語教育への関心が低く、児童生徒の国際コミュニケーション力が不足している。	外国人青年の招致人数			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	外国人青年を招致することにより、外国語教育の充実を図る。	① 招致人数	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	平成23年度	
			目標値	1名	
			実績値	1名	
達成度	100.0 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	児童・生徒が外国語を身近に感じることで、国際感覚に富んだ人材を育成する。	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内容(どのような手段で何を行ったか)					
JETプログラムによる外国語指導助手(ALT)の配置	北海道知事政策部知事室国際課、(財)自治体国際化協会との連携により外国語指導助手を1名招致した。				
保育所・小中学校・高等学校における英語授業の	年度当初に各学校への配置スケジュールを組み、中学校・高等学校での英語授業(TT)や小学校での総合的な学習の中での英語授業を実施した。また、保育所においても園児に対し、やさしい英語での指導を実施した。				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	英語授業を充実することにより、子どもたちの英語や外国に対する関心も高く、学習指導要領改訂により小学校高学年における外国語教育の必修化(H23完全実施)もあり、必要性が極めて高い事業である。
必要／概ね必要／課題あり	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況	小中高の一貫した英語教育にALTを配置することで、児童生徒がネイティブな英語授業を受けるとともに、英語への関心が高まった。
有効／概ね有効／課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由	JETプログラムを活用した招致により、財源対応とともに、適切な人材確保を図ることができた。
効率的／概ね効率的／課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

<b>公平</b>	判断の理由	地域の児童生徒を対象として英語教育の機会均等が図られている。
公平／概ね公平／公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
ALTが学校との打ち合わせ等、定期的な意見交換の場を設けるなどの工夫を行うことによって、外国語教育の充実が図られた。		

<b>今後の展開方向</b> (Action)	↓	↓	↓
<b>継続／現状維持</b>			
招致により子どもたちの英語や外国に対する関心も高まってきている。学習指導要領の改訂による小学校高学年における外国語教育等必修化により、事業の継続は必要であり、さらに拡充について検討していく必要がある。			
* 展開方向の区分 ○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更    ○ 終了    ○ 休止    ○ 廃止			

### 5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)